

備前市事務事業評価表

事務事業名	自治会運営支援事業	コード	05-01-02-04
		担当課・係	企画課 企画振興係
		担当者	青木弘行
		電話	0869-64-1871
事業実施期間			
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	住民主体の協働のまちづくり	
	中項目(基本施策)	住民主体で進めるまちづくり	
	小項目(施策)	コミュニティ	

事業について			
目的 (何のために)	市内15地区で171区会の円滑な運営を目的とする		
対象 (誰・何を対象に)	市民で組織する区会、町内会及び自治会連絡協議会		
	各地区で運営方法は異なるが、区会等の会議運営、役員の研修、地区行事等に対して、一世帯あたり備前地域230円、日生・吉永地域1,100円の補助を行う。また、区会等の代表者による協議会を組織し、15地区及び市との連携を図りながら、備前市区会、町内会としての意志統一を図っていく。また、長年区長等を務め功労のあった人を表彰する。		

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
総区会	15 総区会	15 総区会	
区会、町内会数	171 区会	171 区会	
対象世帯数	15,758 世帯	15,833 世帯	
自治会連絡協議会開催回数	4 回/年	4 回/年	
表彰人数	20 人	4 人	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	14,119	国庫補助金等	直接事業費	14,064	国庫補助金等	直接事業費				
	人件費	5,796	受益者負担	人件費	8,207	受益者負担	人件費				
	市債		市債		市債		市債				
合計	19,915	一般財源等	19,915	合計	22,271	一般財源等	22,271	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.60	人	0.86	人	
結果指標名	協議会開催回数		協議会開催回数		
結果指標量	4		4		
単位	回		回		
対前年比	-		100.00%		0.00%
活動にかかるコスト	19,915,000	円	22,271,000	円	
単位当たりコスト	4,978,750	円	5,567,750	円	
結果指標名	対象世帯数		対象世帯数		
結果指標量	15,758		15,833		
単位	世帯		世帯		
対前年比	-		100.48%		0.00%
活動にかかるコスト	19,915,000	円	22,271,000	円	
単位当たりコスト	1,264	円	1,407	円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	各区会、町内会の円滑な運営と住民福祉の向上を図ること。また、自治会連絡協議会は区会、町内会と市との連携役となり市民生活の向上と市政の円滑な運営に資することで、住民組織と行政の協働のまちづくりを進めていく。		
成果指標名	自治会連絡協議会活動回数	式又は説明	会議、意見交換会の回数
	17年度	18年度	
成果指標量	17	10	
対前年比	-	58.82%	0.00%
到達目標値	8回以上	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：	妥当性評価<A~E> B 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	区会、町内会が自らのまちは自らの手でつくり、問題解決を図っていけるよう、市は補助金の交付以外でも積極的に支援して行く必要がある。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> C 課題認識
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	区会、町内会は市にとってのまちづくりのパートナーであり、協働を進めていく上で欠かせない組織である。自治会連絡協議会においては、区会、町内会からの要望・意見等を聴取し、また市からの連絡事項の伝達を行うなど、協働のまちづくりを行っている。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	自治会連絡協議会は、地区からの要望等の取りまとめ役であり、また市からの連絡事項等の周知等の窓口として有効である。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明 6月に町内会・区長等永年勤続表彰を行いました。また、今年度も区会・町内会及び自治会連絡協議会に補助金を交付する。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量 5	結果指標量 15,850
	成果指標量 12	

総合評価	各区会、町内会で様々な活動を実施し、事業内容も充実してきている。また、自治会連絡協議会も区会、町内会と市とのパイプ役として充分機能しており行政側から見ても事務効率が高い。しかし、区会等運営費補助金の算出方法が異なるため、年次段階的な統一を図っていくことが必要である。	評価区分<A~E> C
------	---	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項	評価の視点 改善内容 改善時期 改善により期待される効果		
効率性	補助金の見直し	平成22年度	補助金の削減が図られる